

## 平和行政の推進を

### 質問

市は、毎年庁舎や福祉センターに平和コーナ―を設置し市民が作った折り鶴を、中学生の代表が広島市の平和公園の原爆の子の像に捧げる事業や、昨年は平和市長会議に加盟し、8月には平和記念式が開催され、式典で平和の講演や広島派遣の中学生の感想が紹介されるなど、「非核・平和都市宣言」にもとづき、市民参加の平和行政が積み上げられてきた。

核兵器の廃絶は、被爆者、日本国民、人類の悲願であり、21世紀の重要な課題だと思いが、市長の見解は。  
愛西市が誕生して、行政と市民の協力により平和行政が前進してきたが、市長はどのように考えるか。

### 市長

先人が受けてきたつらい思いを、市民、そしてこれからの子供たちには受けさせたくないと強い思いがある。

### 質問

## 巡回バスの見直し早く

当然、核兵器は全廃してほしい、このことを願っている。  
また、日本は唯一の被爆国であり、今後もさまざまな機会を通じて平和をアピールし

ながら、これまで市が積み上げてきたものを継承し、平和行政の推進を図っていききたいと考えている。

巡回バスの運行見直しについては、巡回バス検討委員会の意見をまとめ、市長に提言という形で提出される流れとなっている。  
運行の見直しは先延ばしできる問題ではないので、新年度中に行うという答弁である。提言はいつ出されたのか。バスの性格、無料化の継続なのか、運行表やルートの見直し、市外への乗り入れについて、どのように述べているか。

れた。1点目が、他市町、大型店舗への直接乗り入れを含めた運行経路の改善。2点目が、利用率の低いバス停を統合して新しいルートの構築。3点目が、運行の目的に沿ったルートや運行時間の改善。4点目が、公共交通と福

祉目的バスの分割と有料化の検討。5点目が、専門知識を持った有識者の検討委員会への招聘と幅広い意見が入るよう委員の増員である。  
利用改善の意見は、検討委員会に報告する。



加藤敏彦 議員

### 総務部長

利用者の改善を求める声があつとある。要望に対して見直しがされるのか。

提言の提出は4月15日。  
5つの項目について提言を

